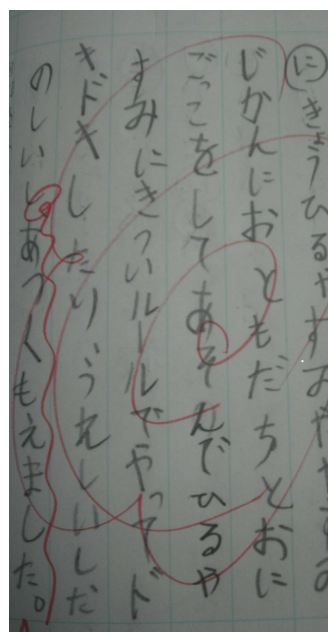
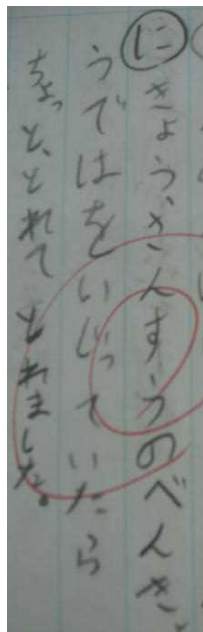
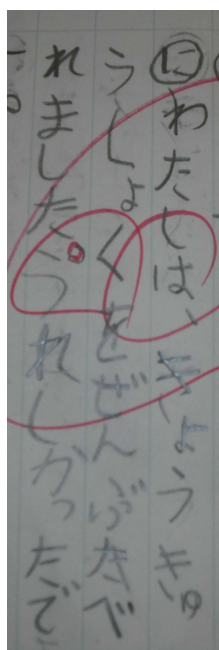


低学年ブロック 実践内容

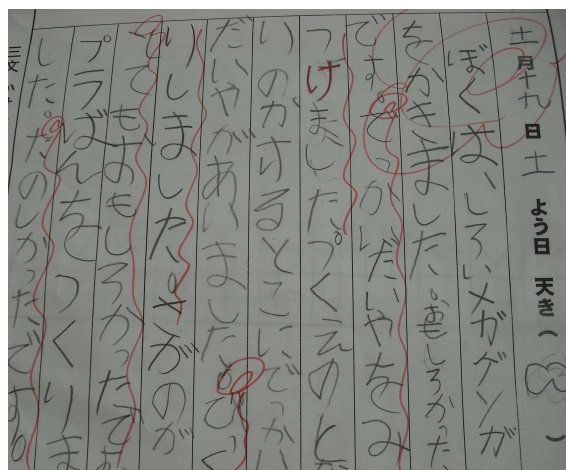
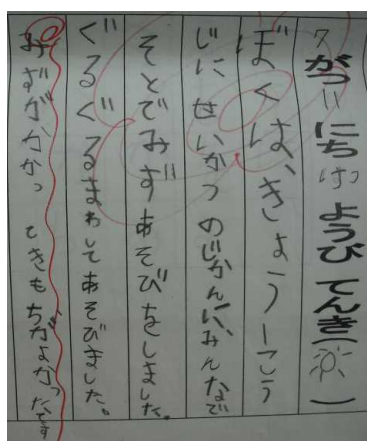
○日常の取組

低学年ブロックでは共通の課題として、表記上の間違い（拗音・撥音・かぎ・句読点など）が多いこと、見直しの習慣がついていないことが挙げられていた。それらを改善するための日常の取り組みとして以下のことに取り組んできた。

1年生では連絡帳にその日にあったことを1行日記に書く習慣をつけてきた。はじめは1文のみであったが、慣れてくると3文程度の文章を短時間で書くことができる子が増えてきた。また、気持ちや様子を詳しく書くこともできるようになった。



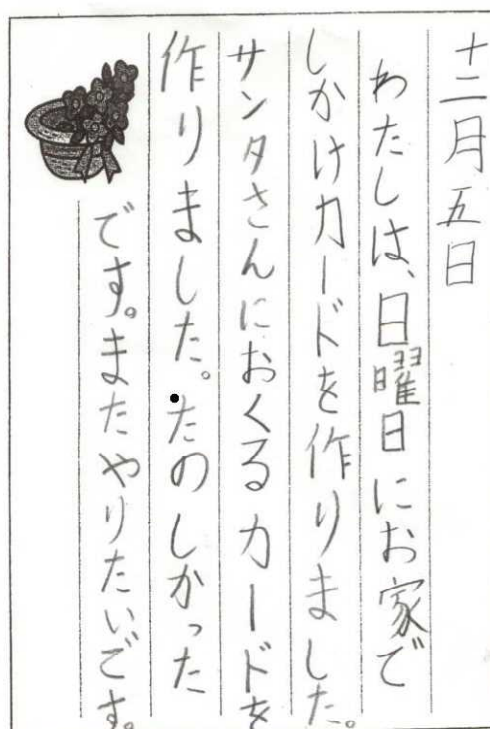
国語で取り組んだ絵日記は、行事のあとや楽しい体験があるたび書かせるようにしてきた。また書いた絵日記をお互いに見せ合い、付箋を使って良い点を伝えたり、共感するような言葉を書いたりすることができた。友だちの文章を読むことで、良い文章や書き方を、自分の文章に生かしていくこともできた。



2年生では国語「今週のニュース」を継続して取り組んだ。始めは書くことを何にするか悩んでいることも多かったが、書くことをすぐに決めて書き始められるようになった。書いたものを読み合い、感想を付箋に書く活動を多く行ったことで、自分の文章を書く時に間違いがないか意識したり、友達の文章の良い点に気づいたりすることができた。

板書をノートへ書くことや、視写を行うことにより、文章を書くことに慣れるようになってきた。

児童の実態に合わせたワークシートを作ったり、選んだりして、理解を深められるようにした。



1・2年ともにスピーチに取り組み、1年生では自分の経験したことを思い出して発表すること、2年生では「はじめ・おわり」に気を付けて発表することに取り組んできた。スピーチすることをあらかじめプリントに書き、詳しく話ができるようにした。

○成果と課題

【成果】

- ・昨年度の研究で作成した「知らせたいな、見せたいな」のワークシートや成果物を使ったことで、学習が進めやすかった。このような資料はどの学年でもストックして、誰でも使用できるようにしておくが良い。

【課題】

- ・自分の文章を読み返しても、間違いに気づくことができない子が多い。言葉自体を間違えて覚えていることもあるので、生活の中でも色々な言葉に触れさせたり、使わせたりしていきたい。